



2026 年度 愛知県SDGs政策パッケージ



2026 年 3 月

愛知県

目 次

I 趣旨	1
II 推進体制	2
III 本県の主な施策	3
(1) 貧困をなくそう	
(2) 飢餓をゼロに	
(3) すべての人に健康と福祉を	
(4) 質の高い教育をみんなに	
(5) ジェンダー平等を実現しよう	
(6) 安全な水とトイレを世界中に	
(7) エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
(8) 働きがいも経済成長も	
(9) 産業と技術革新の基盤をつくろう	
(10) 人や国の不平等をなくそう	
(11) 住み続けられるまちづくりを	
(12) つくる責任つかう責任	
(13) 気候変動に具体的な対策を	
(14) 海の豊かさを守ろう	
(15) 陸の豊かさも守ろう	
(16) 平和と公正をすべての人に	
(17) パートナリシップで目標を達成しよう	
IV 参考	20

I 趣旨

- 愛知県は 2019 年 7 月に内閣府から「SDGs 未来都市」¹に選定されたことを受け、2030 年の愛知県のあるべき姿や、SDGs の達成に向けて先導的に進める取組等を記載した「愛知県 SDGs 未来都市計画」を策定し、全庁を挙げて関連施策を推進しています。
- また、SDGs と同じ 2030 年を目標年度とする長期計画「あいちビジョン 2030」(2020 年 11 月策定)では、「地域づくりの推進に当たっての横断的な視点」の一つとして、SDGs の達成への貢献を掲げ、経済・社会・環境の 3 側面にわたる重要政策の着実な実施を通じて、SDGs の達成に貢献していくこととしています。
県では、このビジョンに基づき、SDGs の理念を踏まえた様々な施策を推進しています。
- 本パッケージは、2026 年度に県が取り組む施策を 17 のゴール(目標)ごとに整理することで、それぞれの施策に関連するゴールを明確化したものです。
- なお、本パッケージに記載している取組は、県の取組の一部を記載したものです。また、複数のゴール(目標)に資する取組がほとんどですが、取組を実施することにより達成される主なゴール(目標)により整理を行っています。



¹ SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるもの

Ⅲ 本県の主な施策



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

生活困窮者の早期の自立に向けて、住まいの確保や就労に向けた支援に取り組むほか、ひきこもり状態など、自ら相談することが困難な方を支援の窓口につなげるため、対象者のいる場所に積極的に出向いて働きかけるアウトリーチによる支援を行うなど、包括的な相談支援を実施します。

また、ひとり親家庭においては、低所得の割合が高く、経済的な理由により子どもの教育や生活環境が不安定になることで貧困の連鎖を生み出す可能性があることから、福祉相談センターに配置する母子・父子自立支援員による総合的な相談や、個々の状況及びニーズに応じた自立支援プログラムの策定による就業支援等を行います。

さらに、子どもの貧困対策として、児童養護施設等で生活する児童の大学等への進学や運転免許取得等に要する費用を支給するとともに、子ども食堂の開設・物品更新等の支援や、学習支援、居場所の提供に取り組みます。



ひとり親家庭のための就職フェア



愛知県子ども食堂マップ

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
生活困窮者自立支援事業	県福祉相談センターの相談支援員、アウトリーチ支援員、住まい相談支援員による包括的な相談支援	福祉局
母子家庭等の自立支援対策	ひとり親家庭等に対する就業支援、日常生活支援	福祉局
子どもが輝く未来基金事業	児童養護施設等で生活する児童の大学進学や運転免許取得に要する費用の支給、子ども食堂の開設・物品更新等の支援	福祉局
子どもの学習・生活支援事業	生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援や居場所の提供	福祉局



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

農業分野の様々な課題に対応した新技術の開発と成果の社会実装を目指す「あいち農業イノベーションプロジェクト」を推進します。

ICT等の先端技術を活用した栽培管理・経営管理の実証及び社会実装に向けて取り組むとともに、スマート農業機械の導入及び農作業の受託等を行う農業支援サービスの活用を進め、スマート農業技術の生産現場への普及拡大を図ります。

また、更なる生産性の向上による競争力強化に向け、農業施設の整備や機械の導入支援と、農地の大区画化や汎用化など、生産基盤の整備を進めるとともに、老朽化した水路・用排水機場等の農業水利施設や農道の長寿命化を推進します。

さらに、本県の地産地消の取組である「いいともあいち運動」の展開や、県産農林水産物のブランド力強化により、国内外における需要拡大を図ります。

その他、有機農業の拡大・定着、畜産業の自給飼料の生産・利用拡大の推進、就農希望者・新規就農者への支援を行うなど、担い手育成にも取り組みます。



あいち農業イノベーションプロジェクト
ロゴマーク



いいともあいち運動
シンボルマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
あいち農業イノベーションプロジェクト	農業総合試験場とスタートアップ等との共同研究開発、生産現場を活用した新技術の開発及び成果の社会実装	農業水産局
【拡充】 スマート農業推進事業	スマート農業技術の実証、 <u>スマート農業機械の導入</u> 、農業支援サービスの活用推進、 <u>水田作栽培管理支援ツールのアプリ化・精度向上</u>	農業水産局
産地パワーアップ事業	高収益化に必要な施設整備や機械の導入への支援	農業水産局
土地改良事業	農地の大区画化や汎用化、農業水利施設や農道の長寿命化	農林基盤局
いいともあいち運動の推進	地産地消の推進や県産農林水産物のブランド力強化	農業水産局
【拡充】 有機農業の推進	<u>有機農業への転換支援と産地づくりの推進</u>	農業水産局
自給飼料生産振興事業	畜産農家と耕種農家の連携による生産・流通モデルの実証、飼料用トウモロコシの栽培実証	農業水産局
農林漁業者確保推進事業	農林漁業就業支援プラットフォームの整備	農業水産局 農林基盤局



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、市町村が高齢者、障害者、子ども等の分野を超えた相談支援等を一体的に行う支援体制の整備を支援するとともに、医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアを推進します。

また、県民が心身ともに健康な生活を続けられるよう、生活習慣病対策に取り組むとともに、自殺やひきこもりなど心の健康の問題に適切に対応します。

さらに、デジタル技術等を活用して県民の健康寿命の延伸と生活の質の維持・向上に貢献するあいちデジタルヘルスプロジェクトを推進します。

その他、2024年度から実施している MD アンダーソンがんセンターとの連携を推進し、県がんセンターの高い医療・研究レベルをさらに向上させるとともに、新がんセンターの整備に向けて、一層連携を強化していきます。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの副反応や罹患後の後遺症に関する相談窓口を引き続き設置するとともに、適時適切に必要な対策を実施します。



介護予防のための通いの場に関するフォーラム



あいちデジタルヘルスプロジェクト ロゴマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
重層的支援体制整備事業	市町村における分野を超えた包括的な支援体制の整備に対する支援	福祉局
地域包括ケアの推進	介護予防のための通いの場に関するフォーラム等の開催	福祉局
健康長寿あいちの推進	あいち健康マイレージの推進、生活習慣病対策の総合的な推進	保健医療局
心の健康の推進	心の健康に関する相談対応、自殺予防のゲートキーパーの養成	保健医療局
あいちデジタルヘルスプロジェクト	産学官連携による先行事業の実施、新たなサービスの創出支援	経済産業局
【拡充】 県立病院事業	MD アンダーソンがんセンターとの連携の推進及び新がんセンター整備に向けた連携の強化	病院事業庁
新型コロナウイルス感染症対策	ワクチンの副反応や罹患後症状に関する相談窓口の設置、研修会の実施	保健医療局



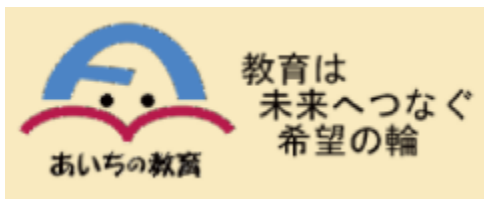
すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

個に応じたきめ細かな指導を実施するため、小学校全学年・中学校第1学年で実施している35人学級を中学校第2学年に拡大します。また、県立中高一貫校3校（津島・時習館・西尾）への国際バカロレアの導入を目指します。また、特別支援学校の整備を進め、通学環境の改善や教室不足の解消を図ります。

自分らしい生き方や夢の実現に向けた見通しを持てるよう、職場体験やインターンシップなど発達段階に応じたキャリア教育に取り組むとともに、全ての県立学校において、1人1台端末や通信ネットワーク等の「デジタル学習基盤」を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進します。

また、外国人生徒等教育支援員の配置や小型通訳機の配備による外国人児童生徒への学習支援を行います。

その他、いじめや不登校といった問題の発生防止を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充するとともに、地域スポーツの活性化に向けて、総合型地域スポーツクラブの運営や指導者確保を支援します。



「あいちの教育」シンボルマーク



ICTを活用した教育

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
【拡充】	少人数学級の拡充	<u>小学校全学年、中学校第1学年で実施している35人学級を中学校第2学年に拡大</u>	教育委員会
	中高一貫教育の導入	国際バカロレアの導入	教育委員会
【拡充】	キャリア教育推進事業	<u>職場体験やインターンシップの実施、キャリア教育コーディネーターの活用</u>	教育委員会
	ICT教育の推進	無線アクセスポイントの拡充、民間学習支援サービスの活用	教育委員会
	特別支援学校の整備	特別支援学校（小牧、天白あいおい、豊田ひまわり）の整備・新設	教育委員会
	外国人生徒等支援員設置事業	外国人生徒等教育支援員の配置、小型通訳機の配備	教育委員会
【拡充】	心豊かな児童生徒育成推進事業	<u>スクールカウンセラー等の配置</u>	教育委員会
	地域スポーツの活性化	総合型地域スポーツクラブの運営や指導者確保への支援	スポーツ局



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

女性の活躍に向けた気運の醸成や人材の育成を図るため、企業経営者・人事担当者を対象としたサミットや、働く女性のキャリアアップのためのセミナーを開催します。

また、あいち女性の活躍プロモーションリーダーのうち金融機関と連携し、取引先企業への働きかけについての行員研修の実施や、企業経営者向けセミナーの開催をするとともに、あいち女性輝きカンパニー認証取得企業が女性活躍の取組を継続していただけるようにフォローアップを行います。

さらに、女子大学生等に対して、リーフレット等の作成や就職フェアにおけるセミナーにより、就業継続を前提としたキャリアプランの形成を支援します。加えて、若い女性の県外流出の防止や県内への流入促進を図るため、県内企業の魅力やロールモデル等を若年女性に向けて、SNSで発信するとともに、東京圏転出入に関して、転出超過の要因となる女性の意識や行動を把握する調査や有識者との意見交換を実施します。

その他、あいち子育て女性再就職サポートセンターにおいて、キャリアカウンセラーによる相談や女性採用に積極的な企業とのマッチングを実施します。



「あいち女性輝きカンパニー」認証ロゴマーク



女性の活躍促進サミット 2025

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
	女性の活躍促進事業	女性の活躍促進サミット 2026 及び女性管理職養成セミナーの開催	県民文化局
【拡充】	女性の活躍企業取組支援事業	<u>あいち女性輝きカンパニーの認証、あいち女性の活躍促進プロジェクトリーダーである金融機関と連携した行員研修、企業経営者向けセミナー、カンパニー認証企業のフォローアップの実施</u>	県民文化局
【拡充】	女性の活躍魅力向上推進事業	<u>キャリア育成意識啓発資材の作成、就職フェアにおけるセミナー、SNS 等を通じた情報発信、若年女性の東京圏転出入に関する意識調査・有識者との意見交換</u>	県民文化局
	子育て女性再就職支援事業	あいち子育て女性再就職サポートセンターの運営	労働局



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

安全で安定した飲み水を供給するため、水質検査を含む飲み水の維持管理や水道施設の老朽化対策に取り組むとともに、地震等の災害時にも安定供給ができるよう、災害に強い施設及びシステムの整備に取り組みます。

また、生活排水等の処理による公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の整備及び運営を行うとともに、合併処理浄化槽への転換を促進します。

さらに、上下水道の料金上昇の抑制、カーボンニュートラルの実現、DXの推進を図るため、矢作川流域を中心とした西三河地域において上下水道の一本化に向けた取り組みを進めるとともに、豊川流域を中心とした東三河地域において上下水道の一本化について検討調査を行います。

その他、長期的な視点に立ち計画的に水資源を確保するため、水源林の造成や森林整備、基幹的な水利施設の改築・改修に取り組みます。また、県民の水に対する関心を高めるため、中学生を対象とした水の作文コンクールを実施します。



犬山浄水場



矢作川浄化センター

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

【拡充】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
水道事業の運営、施設の整備	市町等が行う水道事業への水道用水の供給及び水道施設の整備	企業庁
流域下水道事業の運営、施設の整備	流域下水道の管きよ及び処理場の整備・運営	建設局
上下水道事業の効率的な運営	西三河地域における施設の共同化及び管理、経営の一体化の具体化に向けた検討、 <u>東三河地域における施設の共同化及び管理の一体化に向けた方向性等の検討</u>	建設局 企業庁
合併処理浄化槽への転換	単独処理浄化槽又は汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換の促進	環境局
木曾三川水源造成公社への事業費の貸付	木曾三川の水源地域の森林整備、上流地域への水源林の造成	農林基盤局
水資源の安定確保に係る調査、啓発	水資源の安定確保や合理的な水利用に係る調査、水の作文コンクールの実施	建設局



すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議において、水素・アンモニアのサプライチェーンの構築及び普及啓発を行うとともに、水素サプライチェーン構築に向けた企業による調査費用の一部を支援します。また、工場の脱炭素化を進める企業に対応するため、常滑窯業試験場に整備した水素工業炉を活用し、依頼試験等を行います。

さらに、燃料電池商用車普及のため、導入経費の一部や燃料費の補助を実施するとともに、燃料電池トラックの有料道路通行料金の補助を実施します。また、水素トレーラーを含む水素ステーションの整備・運営に対する支援や燃料電池産業車両（燃料電池フォークリフト）導入経費の一部の補助を実施します。また、水素ステーションを起点とした周辺地域への水素供給を実現する低炭素水素モデルタウン事業を実施します。

その他、住宅用地球温暖化対策設備の導入補助制度により、太陽光発電施設や住宅の断熱性能等をも高める設備等の導入を支援するとともに、「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」を中核に、研究・実証、人材育成、製造拠点等の集積に向けた事業を実施します。



水素ステーション



Aichi Next-Generation Battery Consortium

あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム
ロゴマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
【拡充】	水素・アンモニアサプライチェーンの推進	水素・アンモニアのサプライチェーンの構築・普及啓発、 <u>企業による調査費用の一部を支援</u>	経済産業局
	水素・アンモニア工業炉活用推進事業	常滑窯業試験場に整備した水素工業炉を用いた依頼試験を、県が5年間無償で水素燃料代を支援して実施	経済産業局
【拡充】	水素モビリティの導入促進	<u>水素ステーションの整備・運営、燃料電池商用車の導入経費・燃料費・有料道路通行料の支援</u>	経済産業局
【拡充】	低炭素水素モデルタウン実証事業	<u>水素ステーションを拠点とした周辺施設への水素供給の実施</u>	環境局
	住宅用地球温暖化対策設備の導入支援	太陽光発電施設や蓄電池等の導入に対する補助	環境局
	次世代バッテリー推進事業	産学官の共同研究の活性化のためのマッチング交流会や事前検証支援、人材育成のための高校生向け競技会、実習等の実施	経済産業局



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

産業振興と雇用の維持・創出に向けて、企業の旺盛な投資意欲等に対応するため、基金への積立額を増額した「産業競争力強化減税基金」を活用し、県外企業の新規立地や県内企業の再投資、研究開発・実証実験を支援します。愛知の産業力を支える中小企業に対しては、米国関税措置及び物価高にも対応したきめ細かな金融支援を行うとともに、BCP 策定の支援をします。

また、ジブリパークを始めとする県内の観光資源の魅力を広くアピールし、宿泊や周遊観光を促進することにより、地域経済の活性化につなげます。

さらに、若年者、障害のある人、中高年齢者、外国人等の雇用促進に向けて、相談対応や就職面接会、企業に対する支援を実施するとともに、人手が不足している中小企業の人材確保に向けた支援を行います。

その他、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、中小企業における男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりやテレワークの導入・定着を支援するとともに、地域一体となって愛知発の休み方改革プロジェクトに取り組みます。



愛知県奨学金返還支援登録企業ロゴマーク



あいち県民の日ロゴマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
産業競争力強化減税基金事業	基金への積立額を増額し、県外企業の新規立地・県内企業の再投資・研究開発や実証実験を支援	経済産業局
中小企業金融対策貸付金	県内中小企業者の資金繰りに対する支援	経済産業局
中小企業BCP 策定支援事業	BCP 策定までの伴走支援、セミナーの開催	経済産業局
「ジブリパークのある愛知」の魅力発信	ジブリパークを活用した観光動画によるPR	観光コンベンション局
多様な人材の活躍促進	若年者、障害のある人、中高年齢者、外国人等の雇用促進に向けた相談対応	労働局
【拡充】 中小企業の人材確保支援	<u>人材確保に向けた自社ブランディングや採用活動の支援、奨学金返還支援</u>	労働局
ワーク・ライフ・バランスの推進	中小企業における男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくり及びテレワークの導入・定着に対する支援	労働局
休み方改革の推進	愛知県休み方改革マイスター企業の認定、あいち県民の日の啓発、ラーケーションの日の推進、あいちスキ旅キャンペーンの実施	政策企画局、県民文化局、労働局、観光コンベンション局、教育委員会

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の
促進及びイノベーションの推進を図る

リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進するとともに、名古屋駅からの40分交通圏拡大に向けた検討を進めます。また、2段階の整備で2本の滑走路を配置する「中部国際空港の将来構想」を推進します。

また、STATION Ai プロジェクトの推進により、スタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本県産業の成長を拡大させるエコシステム形成の取組を一層強化します。これに合わせて、STATION Ai、名古屋駅、栄、IGアリーナをつなぐルートでオンデマンドによる自動運転車両の定期運行を実施します。

また、官民連携によるイノベーションプロジェクトの創出に向けた検討・支援を行うとともに、あいちモビリティイノベーションプロジェクトを始め、各種イノベーションプロジェクトを推進します。

さらに、先端デジタル技術を活用した近未来の事業・サービスの実用化を目指すあいちデジタルアイランドプロジェクトを推進します。

その他、官民におけるDXの推進に向けて、職員による生成AIの活用推進や、警察手数料のキャッシュレス決済の定着、中小企業のデジタル技術の導入を支援します。



STATION Ai



革新事業創造提案プラットフォーム
(A-IDEA) ロゴマーク



あいちモビリティイノベーション
プロジェクトロゴマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
	リニア中央新幹線の推進	名古屋駅スーパーターミナル化の推進、名古屋駅からの40分交通圏拡大を目指した取組	都市・交通局
	「中部国際空港の将来構想」の推進	代替滑走路整備に対する支援、将来構想実現に向けた国への働きかけ	都市・交通局
	STATION Ai プロジェクト推進事業	STATION Ai プロジェクトの推進	経済産業局
【拡充】	自動運転社会実装推進事業	名古屋市内におけるオンデマンドによる自動運転車両の定期運行の実施	経済産業局
【拡充】	革新事業創造戦略推進事業	革新事業創造提案プラットフォーム(A-IDEA)の運営、伴走支援、市町村のイノベーション創出支援、「革新事業創造事業費補助金」によるプロジェクトに対する支援	経済産業局
	あいちモビリティイノベーションプロジェクト	ドローンや eVTOL(空飛ぶクルマ)の社会実装に向けた実証実験、調査	経済産業局
	あいちデジタルアイランドプロジェクト	先端デジタル技術を活用した実証実験の実施	経済産業局
	官民におけるDXの推進	生成AIの活用推進、警察手数料のキャッシュレス決済の定着、中小企業のデジタル技術導入支援	総務局、経済産業局、警察本部



各国内及び各国間の不平等を是正する

障害のある人がそれぞれの能力や適性に合わせて地域で自立した生活を営むことができるよう、希望に応じて福祉施設から地域への移行を進めていきます。

また、障害のある人が日常生活等において円滑に意思表示やコミュニケーションを行うことができるよう、手話通訳者等の養成や派遣を行うとともに、障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図るため、あいちアール・ブリュット障害者アート展を開催するほか、障害のある人の芸術文化活動を支援する人材を育成します。

さらに、外国人県民が地域で安心して暮らせるよう、日本語教育を推進するとともに、ウェブサイト充実し、日常生活で必要とする情報を分かりやすく掲載します。

その他、全ての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、人権に関する相談対応を行うとともに、人権課題をテーマとした講演会及びワークショップを実施します。

また、愛知県ファミリーシップ宣誓制度の運用・普及啓発を行います。



あいちアール・ブリュットのロゴマーク



ヘルプマーク



愛知県多文化共生シンボルキャラクター
タコスくん

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
障害者地域移行推進事業	グループホームで働く世話人等の確保、地域生活を体験する機会の提供	福祉局
障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進	手話通訳者や要約筆者等の養成・派遣、 <u>カラーユニバーサルデザインの普及啓発</u>	福祉局
障害者芸術文化活動推進事業	あいちアール・ブリュット障害者アート展の開催、障害のある人の芸術文化活動を支援する人材の育成	福祉局
外国人県民日本語教育推進事業	あいち地域日本語教育推進センターの運営、 <u>オンライン日本語教室の実施</u> 、 <u>日本語能力判定ツールの開発</u>	県民文化局
多文化共生社会づくりの推進	多文化共生情報の発信、愛知県災害多言語支援センターの運営	県民文化局
人権啓発推進	人権に関する相談対応、講演会・ワークショップの実施、愛知県ファミリーシップ宣誓制度の運用・普及啓発	県民文化局

【拡充】



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

大規模災害時に全国からの応援人員や物資等を円滑に受け入れ、被災現場や地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する愛知県基幹的広域防災拠点の整備を進めるほか、住宅や建築物の耐震・耐風化を着実に推進します。

また、交通事故死者数の減少を目指し、交通安全県民運動を実施するとともに、ドライバーの運転マナー向上や自転車の安全利用に向けた取組を行います。

さらに、先進的な技術等を持つスタートアップを活用して市町村のまちづくりを支援するとともに、人づくりやデジタル技術の活用を通じ、東三河の地域課題の解決に向けた取組を行います。

その他、愛知・名古屋のシンボルとなるIGアリーナ（愛知国際アリーナ）から、世界最高峰のスポーツ・エンターテインメントを発信していきます。



交通安全県民運動



IGアリーナ（愛知国際アリーナ）

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
	愛知県基幹的広域防災拠点整備事業	大規模災害時に全国からの応援人員等を円滑に受け入れ、被災現場等に供給する拠点の整備	防災安全局
【拡充】	民間住宅・建築物の耐震・耐風対策の促進	住宅・建築物の耐震・耐風対策のための診断や、補強設計費、 <u>改修費用への補助</u>	建築局
	交通安全対策の推進	交通安全県民運動の実施、ドライバーに対する啓発活動、自転車の安全利用の促進	防災安全局
	スタートアップ活用まちづくり支援事業	市町村とスタートアップ等とのマッチング及び実証実験実施の支援	都市・交通局
【新規】	東三河地域活力創出事業	<u>人づくりやデジタル技術の活用を通じ、東三河の地域課題の解決に向けた取組を実施</u>	総務局
	IGアリーナ（愛知国際アリーナ）の運営	PFI手法による運営	スポーツ局



持続可能な生産消費形態を確保する

循環型社会の形成に向けて、資源投入量と廃棄物発生量を限りなく小さくするサーキュラーエコノミー型ビジネスの発掘、事業化、円滑な事業継続を支援します。

また、著名人や若者によるPR隊を結成し、プラスチックごみ削減の取組を体験してもらい、SNS等で発信するとともに、インフルエンサーを活用した食品ロス削減に関する情報発信を実施します。

さらに、省エネルギーや省資源につながる環境配慮行動に対して、あいちエコアクション・ポイントを発行し、県民の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促進するとともに、人や社会、地域、環境に配慮した商品やサービスを選んで消費するエシカル消費を広く普及啓発します。

その他、公共工事でリサイクル資材を多く利用するため、基準を満たす資材をあいくる材として認定する愛知県リサイクル資材評価制度を運用します。



あいちエコアクション・ポイント



愛知県エシカル消費ロゴマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
サーキュラーエコノミーの推進	サーキュラーエコノミー型ビジネスの発掘・事業化支援、先導的で効果的な設備の導入への支援	環境局
プラスチックごみ、食品ロスの削減	プラスチックごみ削減の取組を体験したPR隊によるSNSでの情報発信、インフルエンサーによるSNSでの食品ロス削減に関する情報発信	環境局
あいちエコアクション・ポイント事業	省エネルギーや省資源につながる環境配慮行動に対するあいちエコアクション・ポイントの発行	環境局
エシカル消費の推進	参加体験型イベントの開催やSNSを活用した情報発信	県民文化局
公共工事におけるリサイクル資材の利用促進	愛知県リサイクル資材評価制度（あいくる）の運用	建設局



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、あいちカーボンニュートラル戦略会議を開催し、事業・企画アイデアの募集を通じて具体的なプロジェクトの創出を目指します。また、戦略会議で選定された、二酸化炭素を固定したコンクリートの社会実装に向けた取組や、燃料電池トラックを活用した物流の脱炭素化を図る取組、ペロブスカイト太陽電池の普及拡大に向けた取組、地産地消 SAF サプライチェーンの構築に向けた取組を支援します。

さらに、中小企業の脱炭素経営や、事業者における再エネ設備・省エネ設備の導入、民間住宅の省エネ改修を支援するとともに、牛のげっふに含まれるメタンを削減する飼料を用いた実証を行います。

水循環をキーワードにカーボンニュートラルの実現を目指す矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトについて、分野を横断した総合的なマネジメントを行い、関連施策の推進を図ります。

その他、県営名古屋空港の脱炭素化に向けた取組を推進するとともに、EV、PHV、FCV 等に対し、本県独自の助成制度により導入を支援します。



矢作川・豊川カーボンニュートラル
プロジェクトロゴマーク



愛知県庁西庁舎ペロブスカイト太陽電池
実証開始式

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

【拡充】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
地球温暖化対策の推進	あいちカーボンニュートラル戦略会議の開催、 中小企業の脱炭素経営の支援、再エネ設備・省 エネ設備の導入支援、民間住宅の省エネ改修支 援、畜産メタン削減に向けた試験研究の実施	環境局 農業水産局 建築局
脱炭素プロジェクトの推進	カーボンリサイクルプロジェクト、物流脱炭 素化プロジェクト、 <u>ペロブスカイト太陽電池</u> <u>普及拡大プロジェクト</u> 、地産地消 SAF サブ ライチェーン構築プロジェクトの支援	環境局 経済産業局
矢作川・豊川カーボンニュー トラルプロジェクトの推進	推進協議会による総合的なマネジメ ント、関連施策の推進	建設局
空港における脱炭素化の推進	県営名古屋空港における太陽光発電設備導入の検討	都市・交通局
ゼロエミッション自動車の普及促進	EV、PHV、FCV 等の導入支援	環境局 経済産業局



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

全国有数のあさり生産を始めとした本県の水産を支える伊勢湾・三河湾及び渥美外海の生産性を高めるため、干潟・浅場の造成、魚礁漁場の整備を進めるとともに、浅海域のあさり漁場に砕石や砂利を利用した貝類増殖場を造成します。

また、水産資源の変動により不安定となっている漁業経営の安定化を図るため、あさりやかきの養殖技術の導入促進を行います。

さらに、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下等を引き起こす海洋ごみへの対策として、漂着ごみの組成調査や発生抑制のための普及啓発を実施するとともに、市町村が行う海洋ごみの回収・処理や普及啓発を支援します。



かきのシングルシード式養殖



海洋ごみ発生抑制普及啓発リーフレット

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
あさりとさかな漁場総合整備事業	あさり漁場となる干潟・浅場の造成、 さかな漁場となる魚礁漁場の整備	農業水産局
貝類増殖場造成事業	浅海域のあさり漁場における砕石を 利用した貝類増殖場の造成	農業水産局
養殖業導入促進事業	県が実証実験を行ったあさりやかきの 養殖技術を活用した養殖業を始め る産地に対する支援	農業水産局
海岸漂着物等地域対策推進事業	海岸漂着物等の調査及び発生抑制の ための普及啓発、市町村が実施する 回収・処理や普及啓発に対する支援	環境局



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

全ての主体がコラボレーション（協働）により生物多様性の保全を進める「あいち方式2030」を中核的な取組方針として、ユース世代による保全活動の促進に取り組みます。

また、事業者による保全活動の促進としてあいち生物多様性企業認証制度を運用するとともに、国が認定する自然共生サイト（民間の取組等によって生物多様性を増進する活動計画の実施区域）への申請支援や希少野生動植物の保全、侵略的外来種対策等に取り組みます。

さらに、今年アルメニア共和国で開催される生物多様性条約第17回締約国会議（COP17）において、本県及び「世界目標達成に向けた国際先進広域自治体連合」（GoLS）のメンバーの取組や成果等について発信を行います。

県内の充実した森林資源を持続的に活用するため、あいち森と緑づくり事業による森林・里山林整備を推進するとともに、ICTを活用したスマート林業の推進、森林クレジット制度の活用促進、県産木材の利用促進など、循環型林業の推進に取り組みます。

その他、東三河地域の森林資源の新たな循環利用を促進するため、森林空間を活用した新たなサービス産業の創出や高校等が製作する木工品のPR等を実施します。



あいち生物多様性企業認証制度 ロゴマーク



県産木材を使用した商業施設「あつた nagAya」

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
【拡充】	生物多様性保全の推進	ユース世代による保全活動の支援、事業者の保全活動の促進、自然共生サイトへの申請支援、 <u>希少野生動植物の保全、侵略的外来種の対策</u>	環境局
	森林の適切な維持・管理	森林・里山林の整備・保全、スマート林業の推進、森林クレジット制度の活用促進	農林基盤局
	県産木材の利用促進	県産木材を利用したPR効果の高い民間施設等への支援	農林基盤局
	東三河森林空間活用事業	森林空間を活用した新たなサービスの創出、森林・林業の魅力伝道	総務局
【新規】	<u>COP17における本県の取組成果の発信</u>	<u>COP17において本県及びGoLSメンバーの取組や成果等について発信</u>	環境局



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて、安全なまちづくり県民運動を通じて県民の防犯意識の高揚を図るとともに、自主防犯団体等と連携した特殊詐欺対策や、防犯カメラ等の防犯対策設備・機器の購入及び設置に対する支援を行います。

また、児童虐待に対応するため、SNSを活用した相談を実施するとともに、弁護士との連携による相談体制の確保や、若手職員に対する実践力強化及び司法面接技術の習得・向上のための研修を実施し、児童相談センターの機能強化を図ります。

さらに、警察活動では、県内各地域にある45の警察署を拠点として、犯罪の予防や検挙、交通の安全指導や取締りなど県民の生命や財産を守るための活動をたゆまず行います。SNS上で実行犯などを募集する闇バイトによる犯罪の発生を防ぐため、SNS上の違法・有害投稿に対して、返信機能を活用した投稿者への個別警告を一部自動化し、運用しています。



春の安全なまちづくり県民運動



年末の安全なまちづくり特別啓発活動

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
安全なまちづくりの推進	安全なまちづくり県民運動の実施、自主防犯団体の設立・拡充支援、自主防犯団体等と連携した特殊詐欺対策の実施、防犯対策設備・機器の購入等の支援、犯罪被害者等の支援	防災安全局
児童虐待対策の推進	SNSを活用した相談、弁護士との連携による相談体制の確保、若手職員に対する実践力強化及び司法面接技術の習得・向上のための研修の実施	福祉局
警察活動の充実	犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止及び暴力団及び匿名・流動型犯罪グループ対策に関する取組の推進、SNS リプライ警告自動化システムの運用	警察本部



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGs登録制度を運用し、SDGsに取り組む企業等の裾野を広げるとともに、登録企業等交流会の開催、NPOと企業・大学等とのマッチング支援により、多様な主体によるSDGsの取組を促進します。また、「SDGs子ども・ユースフェア」を開催し、SDGsの達成に向けた取組を加速します。

また、産学官金で構成される「あいち環境イノベーションコンソーシアム」を推進母体として、スタートアップ発の革新的プロジェクトに対する伴走支援や実証実験を推進するとともに、新たなプロジェクトの創出に取り組みます。

さらに、世界の各地域とのパートナーシップを継続、発展させるため、国や地方政府、海外大学と幅広い分野での交流を推進するとともに、海外サポートデスクにおいて、海外進出を図る県内中小企業等を総合的に支援します。

その他、県民や芸術関係者、企業、団体、市町村等と連携・協働を図りながら、愛知から文化芸術を世界へ発信する国際的な芸術祭を3年ごとに定期的で開催するとともに、今年開催する第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会を契機としてアジア各国・地域との交流促進の支援を進めます。



あいち
環境イノベーション
コンソーシアム
Aichi environmental innovation consortium

あいち環境イノベーションコンソーシアム
ロゴマーク



20th Asian Games
Aichi-Nagoya 2026
HOST CITY

第20回アジア競技大会
エンブレム



5th Asian Para Games
Aichi-Nagoya 2026
HOST CITY

第5回アジアパラ競技大会
エンブレム

【本ゴール（目標）の達成に向けた主な取組】

	取組名	主な取組内容（下線は新規・拡充箇所）	担当局等
【拡充】	多様な主体によるSDGsの取組促進	SDGs登録制度の運用、SDGs登録企業等交流会の開催、NPOと企業・大学等のマッチング支援	政策企画局 県民文化局
	SDGs推進フェアの開催	「SDGs子ども・ユースフェア」の開催	環境局
【拡充】	あいち環境イノベーションプロジェクト推進事業	「あいち環境イノベーションコンソーシアム」を推進母体として、 <u>新たなプロジェクトの創出</u>	環境局
	あいち国際戦略プランの推進	幅広い地域との提携を活かした多層的な交流の展開	政策企画局
【拡充】	国際経済連携推進事業	海外サポートデスクの運営、経済交流事業の実施、 <u>海外販路開拓の支援</u>	経済産業局
	国際芸術祭の開催準備	2028年の国際芸術祭開催に向けた準備	県民文化局
	第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催	大会の開催、大会を契機としたアジア各国・地域との交流促進の取組支援	アジア・アジアパラ競技大会推進局

IV 参考

愛知県SDGs未来都市計画（第3期）について

（1）策定時期

2025年3月

（2）計画期間

2025～2027年度

（3）計画概要

SDGsの達成期限である2030年の愛知県のあるべき姿や、SDGsの達成に向けて、今後3年間に先導的に進める取組を記載するとともに、関連するSDGsの目標や重要業績評価指標（KPI）等を設定しています。

（4）2030年の愛知県のあるべき姿

愛知が丸となって「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」の実現を目指します。

【三側面ごとのあるべき姿】

「イノベーションを創出する愛知」（経済面）

「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」（社会面）

「環境分野で日本をリードする『環境首都あいち』」（環境面）

（5）自治体SDGsの推進に資する取組

側面	取組内容
経済	○革新的技術等の社会実装の推進 ○スタートアップによるイノベーションの創出 ○中小企業の持続的発展に向けた支援 ○イノベーションを生み出す人材の育成・確保
社会	○若者、女性、高齢者、障害のある人、外国人の活躍促進
環境	○「あいち地球温暖化防止戦略2030」の推進 ○EV・PHV・FCVの普及促進 ○循環型社会に向けた取組 ○自然との共生に向けた取組 ○行動する「人づくり」 ○環境面を主軸とした経済・社会・環境の三側面をつなぐ取組